

「『未知への挑戦』とくしま行動計画」（令和4年度版）の見直し案にかかるパブリックコメント回答

令和4年2月4日（金）から令和4年2月18日（金）までの間、オープンとくしま・パブリックコメントを実施したところ、6名の方から28件のご意見をいただきました。ご意見の概要と県の考え方は、次のとおりです。

番号	ご意見・ご提言等	ご意見に対する考え方
1	<p>○徳島県の主導で「四国広域連合」の発足を行う。 ※ 徳島県が、関西広域連合と香川県、愛媛県、高知県とのパイプ役の役割又は橋渡しの役割を果たす。 ※ 四国新幹線の実現 ※ 四国環状高速道路の早期完成</p>	<p>いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
2	<p>○徳島県が大手総合商社(三菱商事・三井物産・住友商事・丸紅・伊藤忠商事)の強化を得て「徳島県庁における総合商社化」の推進を行う。 ※ 徳島県がマネジメント力、マーケティング力、情報発信力、情報収集力、情報分析力の強化を図る。</p>	<p>いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
3	<p>○徳島県が「新太平洋国土軸」（紀淡海峡連絡自動車道・関西大環状高速道路・名神高速道路・新名神高速道路を含む。）の実現を図る。</p>	<p>いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
4	<p>○徳島県が、関西広域連合、近畿知事ブロック会議、四国知事会、中国・四国サミット会議、九州沖縄広域行政機構と共に「西日本国土軸」（四国新幹線・山陽新幹線・山陰新幹線・九州新幹線・西九州新幹線を含む。）の実現を図る。 ※ 令和4年秋に西九州新幹線のJR武雄温泉駅-JR嬉野温泉駅-JR新大村駅-JR長崎駅間が開業予定</p>	<p>いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
5	<p>○徳島県が、四国知事会、中国・四国サミット会議と共に「西日本中央連携軸」（瀬戸中央自動車道・西瀬戸自動車道・山陽自動車道・中国自動車道・山陰自動車道・岡山自動車道・鳥取自動車道・米子自動車道・尾道自動車道・松江自動車道を含む。）の実現を図る</p>	<p>いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
6	<p>○徳島県が「徳島県全県ICT光CATVネットワーク網」を基礎にして「徳島県全県ICT光の道・情報スーパーハイウエー」の情報通信基盤の整備促進並びに「徳島県光ICTデジタル田園都市構想」の実現を行う。 ※ デジタル5Gによる遠隔地診療、遠隔地病理診断、遠隔地放射線診断など ※ デジタル5Gによる遠隔地オンライン授業学習など</p>	<p>本県では、「全県CATV網構想」によりケーブルテレビ世帯普及率が91.1%（令和3年3月末）に達しており、このブロードバンド網を活用し、サテライトオフィスの誘致やテレワークの推進など、様々な取組に利活用されています。 また、5G等の新たな技術を取り入れた「Society5.0」の実装に資する取組みにより、国が打ち出した「デジタル田園都市国家構想」の実現を推進しています。 今後とも、本県の特長を活かし、全ての県民がデジタルの恩恵を享受できる社会の実現に向け、情報通信基盤のさらなる整備拡大に取り組んで参ります。</p>

番号	ご意見・ご提言等	ご意見に対する考え方
7	<p>○徳島県が国土交通省四国地方整備局・空港港湾部を通じて、国土交通本省港湾局から、徳島県が港湾管理者たる「徳島県小松島港」を国際拠点港湾の認定を受ける。</p> <p>※ 更なる「ダイヤモンド・プリンセス号」等の大型クルーズ客船の受け入れ体制の強化</p> <p>※ 徳島県小松島港と台北基隆港、香港港、天津港、上海港、広州港、シンガポール港等を結ぶ新たな国際定期貨物コンテナ航路の開設</p>	<p>「徳島小松島港」は、海上輸送網の拠点となる港湾その他国の利害に重要な関係を有する港湾となる「重要港湾」に指定されています。</p> <p>本県では、アフターコロナを見据え、「観光モデルコース」を多言語で情報発信することにより、クルーズ船の新たな寄港につなげるとともに、関係機関と連携しながら、適切に感染予防対策を行い、安全・安心な寄港に努めているところです。</p> <p>また、コンテナターミナルの更なる利用促進を図るため、「既存航路の充実強化」や「新規航路の開設」を目指し、積極的なポートセールスを実施しております。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上で参考とさせていただきます。</p>
8	<p>○徳島県が「いのち輝く 世界の桃源郷 世界の理想郷 とくしま」になる。⇒「ダイバーシティ とくしま」の実現(共生・交流・活躍)</p>	<p>本計画では、ターゲット1「笑顔とくしま・県民活躍の実装」において、人生100年時代に対応した生涯を通じた学び直しや活躍の支援、年齢や性別、障がいの有無、国籍に関係なく、個性を發揮して自己実現できる「ダイバーシティとくしま」に向けた取組を展開することをはじめ、各種取組を推進しております。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
9	<p>○徳島県が、徳島県民一人一人が「住んで良かった とくしま」、「人に誇れるまち とくしま」、「人に語れるまち とくしま」を実感できるように、徳島県が県威発揚・県威高揚を推進する。⇒徳島県が積極的なハード面及びソフト面の両面に涉る施策の展開を図る。</p>	<p>本計画では、ターゲット1「笑顔とくしま・県民活躍の実装」において、若者をはじめとする「とくしま回帰」や魅力ある地域づくりに向けた地方創生のさらなる深化を図る取組をはじめとした施策展開をすることとしており、ここに生まれてよかった、住んでよかったと実感できる徳島の実現に向け、鋭意、取組を進めているところです。いただいたご意見も参考にしながら、今後とも、ハード・ソフトを織り交ぜた各種施策を積極的に展開して参ります。</p>
10	<p>○徳島県が国が空港管理者たる共用空港の徳島阿波おどり空港の滑走路の長さを2,500mから3,000mへと滑走路を延長して、徳島阿波おどり空港を第二関西国際空港並びに徳島四国国際空港としての位置づけを行う。</p> <p>※ 関西広域連合の関西広域計画における大阪湾ベイエリア空港の整備整備の取組みの一環</p> <p>※ 函館空港、青森空港、岡山空港、大分空港、熊本空港、長崎空港、鹿児島空港は滑走路の長さが3,000m</p> <p>※ 佐賀県の佐賀県営佐賀九州国際空港の国際化空港への取組み</p>	<p>徳島阿波おどり空港では、東京路線を中心とする旅客需要への対応を図るとともに、大型機が就航できるよう、2,000mから2,500m滑走路への拡張事業を平成22年に完了しています。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上で参考とさせていただきます。</p>
11	<p>○徳島県と徳島市が一体となつて、徳島市内において「徳島ライト・レール」の開業を行う。</p> <p>※ 宇都宮ライト・レール(令和5年3月開業)、富山地方鉄道・富山港線(旧富山ライトレール)</p>	<p>本県では、国・県・市町村・交通事業者らとともに、令和元年12月に次世代地域公共交通ビジョンを策定し、それぞれの役割分担と連携のもと、モーダルミックスの推進や新たな運行形態の導入等により、持続可能な公共交通ネットワークの実現を目指して取り組んでいるところです。</p> <p>ご意見をいただきました徳島市内へのLRT導入につきましては、現在、令和8年完成予定の徳島文化芸術ホール(仮称)建設にともない、JR牟岐線への新駅設置を進めており、LRTと同様、駅間が短くなることで、新ホールへのアクセス向上はもとより、徳島市役所、徳島税務署をはじめ周辺公共施設を利用する全ての皆様の利便性が向上するものと考えています。</p>

番号	ご意見・ご提言等	ご意見に対する考え方
12	○徳島県が徳島県全体の発展のために世界中から 高度産業技術人材(理学博士・工学博士・医学博士・歯学博士・薬学博士などの博士号の学位を持つ者)、物、最新高度先端技術(有機ELパネル製造など)、情報を呼び込む。	<p>本県では、徳島の強みであるLED・次世代LEDをはじめ、ロボット技術や農商工連携、新素材関連(CNF、CFRP等)、健康・医療関連(医薬品、健康食品等)などの分野において、産学官連携のもと、海外展開も視野に入れながら、産業イノベーションの創出を図るとともに、県内事業者のDX・GXを積極的に推進し、県内経済の活性化に取り組んでいます。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
13	○徳島県が叡知と英断を持って「徳島における天地創造」又は「徳島における天地開闢」を行う。⇒徳島県が新たな未来の徳島を創造する。	<p>本計画は、「未来志向」による新たな徳島づくりに向けた「県政運営指針」となるよう、2060年頃の「目指すべき将来像」を示した「長期ビジョン編」、10年程度先を見据えた「近未来の成長戦略」である「中期プラン編」、当面取り組むべき4年間の重点施策を明示した「行動計画編」の3層構造としており、また、本計画の推進にあたっては、PDCAサイクルによる政策評価の手法を活用するとともに、第三者機関である「県政運営評価戦略会議」等において、「より県民目線に立った客観的な評価」を行っていただきながら、毎年度、計画の「改善見直し」を行っているところです。</p> <p>いただいたご意見を参考にしながら、本県が目指すべき将来の姿とその実現に向けて、今後とも徹底した県民目線・現場主義のもと、県政を計画的に推進して参ります。</p>
14	○徳島県が「国際観光交流立県・とくしま」、「国際貿易立県・とくしま」、「国際物流流通立県・とくしま」、「国際ものづくり工場立県・とくしま」、「国際会議立県・とくしま」になる。	<p>本県では、「オール徳島・観光商談会」の開催や、オンライン活用を含めたコンベンション誘致による交流人口等の増加に努めているとともに、大都市圏等からの成長分野関連企業等の誘致や本社機能移転を推進し、本県経済の活性化及び雇用機会の確保を図っています。</p> <p>また、徳島の強みであるLED・次世代LEDをはじめ、ロボット技術や農商工連携、新素材関連(CNF、CFRP等)、健康・医療関連(医薬品、健康食品等)などの分野において、産学官連携のもと、海外展開も視野に入れながら、産業イノベーションの創出を図るとともに、県内事業者のDX・GXを積極的に推進し、県内経済の活性化に取り組んでいます。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
15	○徳島県が「徳島経済技術開発特区」を創設して、海外からの資本、優秀な外国人の高度産業技術人材(経済学博士・MBA経営学博士・商学博士・理学博士・工学博士・医学博士・歯学博士・薬学博士・農学博士等の博士号の学位を有する外国人)、高度先端最新技術産業(量子工学産業・ロボット工学産業・ゲノム遺伝子工学産業・バイオ工学産業・医療工学産業・健康科学工学産業・光情報工学産業等)、最新情報を徳島県に呼び込んで、徳島県全体の発展に繋げる。	<p>本県では、徳島の強みであるLED・次世代LEDをはじめ、ロボット技術や農商工連携、新素材関連(CNF、CFRP等)、健康・医療関連(医薬品、健康食品等)などの分野において、産学官連携のもと、海外展開も視野に入れながら、産業イノベーションの創出を図るとともに、県内事業者のDX・GXを積極的に推進し、県内経済の活性化に取り組んでいます。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
16	○知り合いが徳島県のある自治体を受験した際、電子申請で応募が出来なかったと言っていました。他の自治体ではでき、その自治体だけ出来なかったそうです。徳島県全体で電子申請を使用できるように、電子申請の活用方法やメリットなどについて普及活動に取り組んでほしいです。	<p>本県では、住民サービスの向上と業務の効率化を図るため、「電子申請・届出システム」を県及び県内全ての市町村において共同調達し、運用しているところです。</p> <p>御提言いただきました採用試験をはじめ、各種行政手続のオンライン化が図られるよう、今後とも市町村に対し、システムの活用を促進して参ります。</p>

番号	ご意見・ご提言等	ご意見に対する考え方
17	○重点項目の資料について、各ターゲットの題目を併記してはどうかと思いました。重点戦略がさらに分かりやすく伝わるのではと思いました。	<p>本計画では、「新型コロナ」、「人口減少」、「災害列島」という「3つの国難」打破に向けて、集中的に取り組むべき行動計画の構成事業を「重点項目」として設定するとともに、その原動力として「GX」と「DX」を「2つの推進エンジン」と位置づけているところです。</p> <p>いただきましたご意見を踏まえ、さらなる分かりやすい計画となるよう、「重点項目一覧」に「各ターゲットの題目」を加筆させていただきます。</p>
18	OLEDをつかった魅力あるイベントをもっと行ってほしいです。SNSの力をフル活用したバズる企画を期待しています。	<p>本県では、「次世代LEDバレイ構想」を策定し、次世代の光（目に見えない光）が持つ可能性を活かした新たな地方創生の取組として、世界最高峰の品質を誇るLEDデバイスメーカーと優れた応用製品を開発・生産するLED関連企業、最先端の光源研究と実用化に取り組む高等教育機関等が連携し、先進的な産業振興や人材育成に取り組んでいます。</p> <p>また、徳島ならではのLEDブランドの構築に向け、国内外の大規模展示会への出展やSNS等において県内企業の優れた技術力やLEDの魅力を発信するとともに、光の話題づくりとしてLEDを利用した光の名所と呼べるイルミネーションやモニュメントなどを「光の八十八ヶ所」として認定し、地域のにぎわいづくりを創出しています。</p> <p>今後とも、徳島の強みとポテンシャルを強力に発信し、国内外からひとを呼び込む徳島ブランドの構築に向け、しっかりと取り組んで参ります。</p>
19	<p>○徳島県がデジタル5Gやデジタル6Gの運用開始を視野に入れて「徳島県全県CATVネットワーク網」に基づいて、「徳島県全県ICT光の道・情報スーパーハイウエー」へと進化・発展させる。⇒ICT光の道による地域再生・地域創生を行う。</p> <p>※「徳島県全県ICT光の道ネットワーク網・市役所町村役場」、「徳島県ICT光の道ネットワーク網・保健医療機関」、「徳島県ICT光の道ネットワーク網・公共図書館」、「徳島県ICT光の道ネットワーク網・学校教育」、「徳島県ICT光の道ネットワーク網・生涯学習」、「徳島県ICTの光の道ネットワーク網・公民館」、「徳島県ICT光の道ネットワーク網・ものづくり」など</p>	<p>国においては、デジタル技術を活用して、地域の個性を活かしながら地方を活性化し、持続可能な経済社会を実現する「デジタル田園都市国家構想」を打ち出すとともに、デジタル社会の実現に向けた重点計画を閣議決定するなど、デジタル化を国全体の課題と位置づけています。</p> <p>本県では、地上デジタル放送への移行に対応するため、ピンチをチャンスへと変える「全県CATV網構想」のもと、県下全域に光ブロードバンド網を整備したことにより、地上テレビジョン放送のデジタル化への対応にとどまらず、高速・大容量の情報通信基盤を構築しました。</p> <p>これを活かし、サテライトオフィスの誘致や、「徳島県GIGAスクール構想」の展開、5G等の新たな技術を取り入れた「Society5.0」の実現に資する取組み等を推進しています。</p> <p>今後とも、本県の特長を活かし、全ての県民がデジタルの恩恵を享受できる社会の実現に向け、情報通信基盤のさらなる整備拡大に取り組んで参ります。</p>
20	<p>○徳島県が徳島県内のふるさとの海・川・山を守り、ふるさとの海・川・山を美しく、ふるさとの海・川・山を蘇らせ、徳島県が豊かな自然を大切に、併せて、豊かな自然と共生する地域環境を創設する。</p> <p>※ 徳島県が徳島のふるさとの里海づくり(太平洋・紀伊水道・瀬戸内海の3つの海)、徳島のふるさとの里川づくり(四国三郎の吉野川・海陽町の母川)、徳島のふるさとの里山づくり(日本の原風景の上勝町のいろどり山・日本の原風景の三好市の祖谷地域)を行う。</p>	<p>県では、本県が有する「自然豊かな環境」と、そこに息づく「多種多様な野生生物」を未来に引き継ぐとともに、「生物多様性という地域資源を活かしたコンパクトな循環型社会の実現」を目指すため、「生物多様性とくしま戦略」を策定し、様々な取組を進めているところです。</p> <p>また、良好な水質と生物多様性・生産性など自然の恵みを受用できる「とくしまのSATOUMI(里海)」の実現を目指すため、平成30年度から、地域における主体的な里海づくり活動を支える「とくしまSATOUMIリーダー」等の人材育成を行っているところです。今後も、里海に対する理解や環境保全に関する意識を醸成するため、里海ポータルサイト等を活用した情報発信・広報等の充実を図って参ります。</p> <p>いただきましたご意見につきましても、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>

番号	ご意見・ご提言等	ご意見に対する考え方
21	<p>○徳島県が「『未知への挑戦』とくしま行動計画」に、「世界の中の徳島」を目指して「シンク・ローカル、アクト・グローバル」の文言を明記する。</p> <p>※ 国際連合が定める17つのSDGs(持続可能な開発目標管理)の取り組み</p>	<p>本計画においては、「徳島版『SDGs』の実装」を前面に打ち出し、計画に掲げた重点施策と、SDGs17の目標との関連を分かりやすく「見える化」を図るとともに、SDGsを県民の皆様に分かりやすく伝え、主体的に取り組んでもらうための積極的な普及啓発に取り組んでいます。</p> <p>今後とも、「徳島版『SDGs』の実装」に向けて、創意工夫を凝らした取組を展開して参ります。</p>
22	<p>昨年、ヴォルティスがJ1で活躍し、その影響もあってか、スタジアムでグルメやちょっとしたイベントなどが開催されていて、とても賑わっていました。</p> <p>今年はJ2で舞台こそ違いますが、引き続き、地域の賑わいや活性化を図るイベントを行ってほしいです。</p>	<p>昨シーズン、徳島ヴォルティスのJ1復帰に際し、より多くの方にご来場いただき、その方々の利便性向上を図るため、試合開始前の時間を楽しんでいただくイベントを開催、また、交通事業者等と連携したスタジアムへの交通アクセスの充実を図り、J1定着に向けたにぎわいの創出や応援気運の醸成に取り組んだところです。</p> <p>J1シーズンで高まった応援気運を冷ますことなく、今シーズンも多くの県民の皆様にスタジアムに来場いただき、J1復帰への強い後押しとなる声援を送っていただけるよう、各ホームタウンと連携し、魅力的なホームタウンデー及び県民デーの開催に取り組むとともに、小中高生招待事業を実施するなど、にぎわいの創出による地域活性化に努めて参ります。</p>
23	<p>世界初とうたったDMVの運行が始まったので、この機会を逃すことなく、全国から来られる方々への魅力発信を頑張してほしいです。コロナの影響もあって難しいと思いますが、DMVや地域の特徴を活かしたイベントなどをたくさん企画してほしいです。</p>	<p>線路と道路の両方を走行することができるDMVは、車両自体が観光資源となり、南部圏域の観光振興はもとより、付加価値のついた「新たな公共交通システム」として、全国的にも注目されているところです。</p> <p>本県では、DMVの利用促進はもとより、DMVを核とした県南の観光振興を図るため、DMVを活用した各種誘客イベント開催のほか、メディア向け広報活動、SNSや動画配信サイト等を活用したプロモーションに取り組んでいるところです。</p> <p>さらに、「一般社団法人四国の右下観光局」をはじめ、地元事業者、関係団体等で組織されたDMVの観光活用策を検討する「あさチェン推進会議」等と一体となって、DMVと周辺観光地をつなぐ周遊プランの企画、お土産・飲食メニューや関連グッズの開発、沿線ガイドマップや二次交通として活用できるシェアサイクルの導入など、観光コンテンツの開発や観光客の受入態勢の整備にも取り組んでいます。</p> <p>引き続き、DMVを核とした各種誘客イベントの開催や、鉄道専門誌、SNS、動画配信等の媒体を活用したプロモーションを実施することにより、県南への観光誘客に戦略的に取り組んで参ります。</p>
24	<p>○徳島県と徳島県内のすべての市町村が一体となつて、徳島県における全国都道府県の魅力度ランキングを高め、同時に、徳島県の市町村における全国市町村の魅力度ランキングを高めることで、新たな観光需要の創出を行う。</p>	<p>400年の歴史を持つ「阿波おどり」や「阿波藍」「阿波人形浄瑠璃」「ベートーヴェン第九」といった「あわ文化4大モチーフ」や全国屈指の光ブロードバンド環境を活かした「サテライトオフィス」や「デュアルスクール」など、徳島の持つ魅力を多くの方に届けられるよう、市町村などとも連携し、今後の情報発信を展開して参ります。</p>
25	<p>徳島県が、徳島県における国際化の進展を目的に世界の名門大学(スタンフォード大学・オックスフォード大学・ハーバード大学・カリフォルニア工科大学・マサチューセッツ工科大学・ケンブリッジ大学・イエール大学など)を誘致して、徳島県における地域活性化の拠点にする。</p>	<p>本県では、県内高等教育機関との連携はもとより、県内外の大学の地域における教育・研究活動等の拠点となる大学サテライトオフィス誘致、平成30年10月「地方大学・地域産業創生交付金事業」に採択された、本県の強みである“光”をテーマとした「光関連産業の振興」と「光応用専門人材の育成」による地域活性化の取組みなど、地方創生をリードする「徳島ならではの」の取り組みを積極果敢に展開しているところです。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の施策の推進する上での参考とさせていただきます。</p>

番号	ご意見・ご提言等	ご意見に対する考え方
26	県では温室効果ガスの削減目標や脱炭素ロードマップを作成しているが、達成のために事業者や個人がどんなことに取り組みばよいかということを発信してほしい。	<p>本県では、国に先駆け、「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」を掲げた「気候変動対策推進計画（緩和編）」を一昨年3月に策定し、ライフスタイルの転換促進や、県民や各種団体、事業者の皆様が主体的に取り組む環境活動への支援など、県民総活躍による「脱炭素社会の実現」を目指しているところです。</p> <p>加えて、本県の地球温暖化・脱炭素対策を戦略的に推進するため、昨年12月に「徳島県版・脱炭素ロードマップ」を策定したところであり、いただいたご意見も踏まえ、今後も、様々な施策の推進とあわせ、事業者や県民の皆様への情報発信に努めて参ります。</p>
27	コロナ禍により子どもの貧困が問題となっている。把握が難しいヤングケアラーに対して、子どもに寄り添った支援をお願いしたい。	<p>潜在化しやすく、支援が届きにくい状況となっている「ヤングケアラー」については、県内の正確な実態の把握に努めるとともに、福祉、介護、医療、教育等の関係機関のさらなる連携強化及び関係職員のスキル向上を図り、子どもの気持ちに寄り添った適切な支援につなげます。また、社会全体に「ヤングケアラー」の正しい理解を促すため、周知・啓発に努めます。</p> <p>今後とも、誰ひとり取り残さない社会の実現に向け、困難な環境にある子どもやその家族への支援にしっかりと取り組んで参ります。</p>
28	選挙権年齢が引き下げられており、また4月には成年年齢が引き下げられる。子ども達への消費者教育や主権者教育に力を入れて欲しい。	<p>令和4年4月からの「成年年齢引下げ」に伴い、高校生が在学中に「成年」となるため、消費者教育と主権者教育を両輪として、合理的な意思決定ができる「自立した消費者」や社会を自分事として捉え「積極的に社会参画する主権者」の育成を図って参ります。</p>